

日本の名著

アジア共有の知的資産として

中国大陸でも読み継がれている

「日本学術文庫」として日本の名著が中国語に翻訳され出版されている。総合政策学部の劉迪教授が進めているプロジェクトの成果である。

現在刊行されているのは、展示されている7冊。中国北京の商務印書館(商务印书馆)による出版である。

中国語の書名	日本の原著者	日本語の原題
《日本政治》	京極純一	『日本の政治』
《日本历史与日本文化》	内藤湖南	『日本文化史研究』他論文、講演原稿
《日本官僚制研究》	辻清明	『日本官僚制の研究』
《日本的神道》	津田左右吉	『日本の神道』
《日本人的心理结构》	土居健郎	『甘えの構造』
《風土》	和辻哲郎	『風土』
《日本的佛教与神祇信仰》	義江彰夫	『神仏習合』

<http://www.cp.com.cn/book/5315286369.html>

当館で読めるオリジナルまたは関連書籍などを併せて展示している。

本プロジェクトを推進している劉迪教授からのメッセージは次のとおり。

『日本学術文庫』について

このプロジェクトは筆者を含めた中国の日本留学経験者によって発案されたものである。以来、日中間で広く賛同、応援を得て今日まで継続してきた。この叢書の最大の特徴は、日本の学術界で定評のあるものばかりが選ばれているという点である。更に各分野の研究者、専門家による翻訳という点を重視し、訳者は何れも当該分野の専門家である。

この叢書の翻訳及び日中学術の交流のために日中研究者が「以文会」を立ち上げ今日まで研究会を50回以上催し、地道な活動を続けている。国を跨る学術交流はこの叢書の翻訳を縁にして促進されたのである。

諸般の事情で翻訳、出版のスピードは想定していたものより遅れているが、当初から活動する人々は初心を変えずに目標を目指して努力している。

総合政策学部

劉 迪

2015年7月4日

読売新聞、朝日新聞の記事も併せてお読みください。

総合政策学部 教授 知原信良